

第26回 東大寺福祉事業団 こども作品展・チャリティー作品展

令和元年 11月2日(土)～11月3日(日・祝)
午前10時から午後4時まで

会場：東大寺大仏殿西廻廊及び集会所
入場無料

(但し、大仏殿へのご参拝には別途入堂料が必要となります)

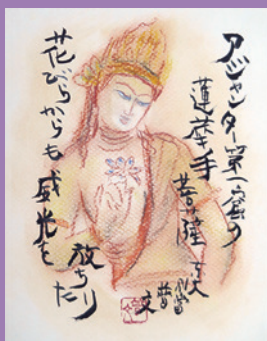
社会福祉法人 東大寺福祉事業団 設立の趣旨

奈良時代、聖武天皇は動物も植物も命あるもの、すべてが栄えることを願って大仏様をつくられました。またお后の光明皇后は、施薬院、悲田院(今の福祉施設にあたる)を建て、人々のために尽くされました。

このように、わが国社会福祉事業の発祥の地とも言える東大寺では、障害のある子供達の療育支援(医療と発育・発達の支援)こそ、社会の要望にこたえ、大仏造立の意義にもかなうとの考えから、昭和30年7月聖武天皇1200年御遠忌の記念事業として東大寺福祉事業団を設立し、境内に現在の東大寺福祉療育病院の前身である東大寺整肢園を開設しました。以来、子供たちは、大仏様の精神、恵まれた環境のもと、一人一人の障害に応じた療育を受けてきました。

医療の進歩により子供の病気の治療、救命が進む一方で、医療的ケアなどを要する重い障害を持つ子供やその家族への支援がますます必要とされています。

今回で第26回目を迎える「こども作品展・チャリティー作品展」の収益はそういった方々の支援に充ちたいします。皆様のご来場をお待ちしております。



華厳宗管長・東大寺別当
(兼)東大寺福祉事業団総長

「蓮華手菩薩」
狭川普文



「はなあか ZOO」／「華の明」合同作品

作品展出品者

東大寺別当 狭川 普文
東大寺 長老・塔頭住職

真言宗 吉田 真譽
浄土宗 増田 洲明
谷寛薫 谷井 芳山
泉 薫 松本 政昭
光林薫 新 佳三

香柏薫 尾西 楽斎
彫刻家 水島 石根
彫刻家 籾内佐斗司
彫刻家 水島 太郎
陶芸家 松丸 弘道
陶芸家 三木 理恵
清澄薫 辻本 修
シャードト 東 久三子

ペン画 森脇 宏
竹工芸 松村 茂
画家 横堀 喜寛
写真家
木村昭彦 清水達也
峯明日香
他、有縁の皆さま